



『第11回 たきかわ 紙袋
ランタンフェスティバル』

滝川支部 神部 絢子

余り広く知られてはいないイベントのお話をいたします。

平成25年2月16日滝川市において「第11回たきかわ 紙袋ランタンフェスティバル」が開催されます。



身近にある紙袋にデザインを施し雪を詰め、ローソクを仕込んだランタンを街区に飾り楽しむお祭りです。その始まりは、平成15年になります。“アメリカの砂漠に、紙袋に砂を詰め、キャンドルを灯したランタンが、人々をホテルへと誘導する幻想的な風景がありますよ”との話がきっかけでした。滝川に砂漠はありませんが、冬にはあり余る雪があります。砂の代わりに雪を詰め袋にデザインをしよう！会場は、当時シャッター通りに変貌しつつあった街中を元気づけたいと、駅から続く中心商店街に決定。商店街と建築士会女性部会の協賛金でアートチャレンジ滝川と女性部会が中心となり、青年部会の協力の下、第1回の開催へと漕ぎ着けました。火を灯し僅か3時間の命を吹き込まれる主役のランタン達は、幼児から高齢者まで市内の諸団体の皆さんが制作します。

第1回の1,500個から昨年の第10回には10,000個と年々その数は増えています。第9回からは市民有志が実行委員会を組織し、運営する市民主導のイベントとなりました。



シンプルな材料に、みんなの思いをこめてデザインした、同じものは2つとないたったひとつのランタンたち。その柔らかな光に照らされた街区は幻想的で、厳しい冬を過す私達の心を温かく包み込み、豊かにしてくれます。イベントに先立ち1週間前よりプロ作家による作品を店舗のショーウィンドウに飾ります。とても見ごたえがあり、イベントへの期待と夢が広がります。



ランタン達の織り成す美しい風景と‘かまくらバー’のホットワイン・飲食ブースの滝川の美味しいものたちが皆様のお越しをお待ちしております。ホッと温もりませんか。

<http://lantern-takikawa.jp>

「創ってみよう
未来のあさひかわ」
～まちづくりワークショップ～

旭川支部 齊藤 裕美

秋も深まった10月の土曜日、旭川市科学館・サイパルの木工室にて旭川工業高校建築科の生徒さんを対象とした「街づくりワークショップ」を行いました。工業高校の建築科を卒業しても建設業界に就職する生徒が少ないという話を聞き、一人でも多く将来建築士を目指して欲しい、また、自分が住んでいる街に関心をもってほしい、という願いから、今回のワークショップを企画しました。工業高校の先生にこの企画のお話をしたのが7月だったでしょうか。学校行事とのかねあいもあり、実行日のお知らせを頂いた時は本当に嬉しかったのを覚えています。

当日は1年生から3年生までの計16名の生徒が参加。ワークショップを始める前に、まずは我々スタッフの自己紹介を兼ねて現在自分が勤めている仕事の内容や、建築士になるまでの話しなどをして頂きました。その後、3グループに分かれて旭川駅周辺の現状や将来の希望、理想を話しあい、テーマを決めて、おもちゃのブロックを使い未来の旭川駅周辺の建物を作ってもらいました。作業時間が少し足りなかった様ですが、集客施設のシンボルタワーやライブ会場、家族で寛げる施設など、色彩にも凝った素晴らしい作品が駅周辺に立ち並びました。

アンケートでは、建築士と交流できる企画を今後もやってほしいという要望が多く、来年も引き続きやっていきたいと思えます。

